

仕事中の事故について

豊前支部 本末 大造*

事務所から工事現場への移動中に、横方向からの相手の進入により自分は事故に遭った。事故現場では先ず警察に電話するのが第一であるが、事故を起こした動揺からか女性はその場に事故報告をしていて、自分には「加害者にも関わらず、無責任だ。」と思われた。そういうのが普通なのだろうか？自動車学校でも習う事ではあるが、高齢によりしょうがないのだろう。

忙しい中先輩達に迎えに来てもらい、事務所に帰ると、まだ誰も事故の発生状況を把握していないため自分を見る目が非常に冷たかった。

衝突した瞬間には視界のなかを蛍光色な無数の明かりが飛び交った。首にはモンヤリとした違和感があり、事故当日に病院で検査するとレントゲン写真で首が見事に S 字に曲がっていた。医者曰く、全治するには少なくとも半年はかかるややこしい曲がり方らしい。「どうやら、面倒な事になったみたいだ。。。」

次の日から首が寝違えたみたいに強烈に痛くなり、2 日後ともなれば人生初の首コルセットで固定を余儀なくされた。「こんなもの本当に役に立つのだろうか？」事故に遭う前はそんな風に思っていたが、使用する身となっては全くうまくできた物であると感動し、手放せない程重宝している。

事故から 2～3 週間は半日出勤していたが、午後は体が充電切れとなり言うことを聞かないので、休みをもらった。職場の先輩たちには非常に迷惑をかけ、申し訳ない気持ちで一杯だったが、非情にも体は起きあがれない状態にまで至り、病院に入院せざるを得なくなった。

その入院とは検査入院であり、脳髄液低圧症候群の疑いがかかったためであった。この症状とは、通常脳は髄液で浮いた状態となっているが、運転中やスポーツ時等の強い衝撃により髄液が漏れだして、めまい・吐き気・頭痛などの症状が出るのである。結果は陰性でなによりだったが、未だめまい・吐き気・頭痛が続いたり熱が上がったりと回復を目指して日々リハビリである。

事故は自分が気を付けていても、もらい事故をするので人生の憤りの無さを感じる。まあ、事故に遭った年はどうやら厄年だったみたいなのではしょうがないのだろうか。(厄払いしてなかったし) 事故に遭わない事に越したこと事はないが、今回の件により健康の有り難さが分かって良かった。物は考えようである。と、自分に何度も言い聞かせている。

* 豊前土木事務所道路課維持係